



美原っ子

8月臨時号

〈学校教育目標〉 自ら学び 心豊かでたくましい子どもの育成
 考える子（かしこく） 思いやりのある子（やさしく） 元気な子（たくましく）

■ 5年生 林間学校（7月22・23日） ■

5年生が林間学校に行ってきました。林間学校がこの時期になるのは登山やキャンプファイヤーのため引率教員が多く必要なためなのですが、終業式の翌週にもかかわらず、朝から5年生の子どもたちは元気に笑顔で集合しました。



満足そうな表情で帰ってきた子どもたち。2学期も美原小を支える活躍をしてくれることを期待しています。

体調管理やお弁当づくり、朝の見送りやお出迎えにご協力いただきました保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

■ 地球にやさしいこどもサミット（8月1日） ■

所沢市子どもと福祉の未来館で「地球にやさしいこどもサミット」が開かれ、本校の6年生が代表として参加しました。美原小では節水や節電等の取組を行っており、今年度の「所沢市地球にやさしい学校大賞」で努力賞をいただきました。事前に6年生全体へ呼びかけたところ、多くの子が立候補してくれたので、美原っ子なら誰でも絶対にしっかりできると信じ、厳正なるジャンケンで代表を選びました。選ばれた2人は進んで本を読み、夏休み中も自主的に学習会を開き事前勉強をしました。当日はたまたま体調を悪くして1人だけの参加となりましたが、参加した子はとても積極的に話し合い、グループで他の学校の子も手助けしながら、環境問題について考えを深めていました。夏休みもがんばる美原っ子でした。



■ 「学校図書館」のリニューアル計画 ■

私（校長）は子どもの頃に狭山ヶ丘駅近くに住んでいたのですが、新所沢駅近くのパルコや古本屋によく来ていました。だから、昨年パルコ閉店のニュースを聞いたとき、大変なショックを受けました。今年度、美原小学校に着任して思ったことの一つが、子どもたちが気軽に行けた学区近くの本屋さんが少なくなってしまったということです。残念ながら、ネット通販が発達した昨今、このようなことが全国で起きています。お勧めの本がたくさん並んでいる本屋さんで、子どもたちが思い思いに本を選ぶ（立ち読みも）ことができないのは、とってもさみしいことと思います。

そこで、現在、美原っ子のために「学校図書館」をリニューアルする計画が**静かに静かに**進行中です。まず、高学年図書室を広く使いやすくするために、中央のガラス張りの部屋を撤去する工事を行っています。また、低学年図書室は、本棚のレイアウトを変更し、やはり広くのびのびと本が読めるようにします。



本棚の位置を変更しました。

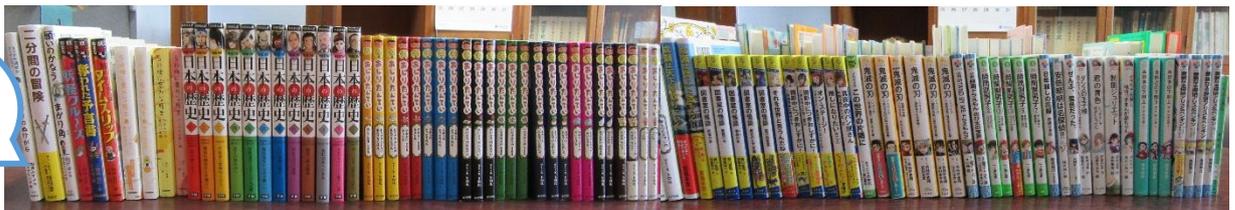


中央の部屋を撤去する工事を行っています。

また、古くなった本はどうしても子どもが手に取りにくいので、適時入れ替えていきます。予算に限りがあるため、新しい本をすぐに多くそろえることはむずかしいかもしれませんが所沢市からの予算や愛校会からのご支援を大切に活用していきます。（古い本を処分するため、一時的に本が少なくなったと感じるかもしれませんがお許しください。）

さらに、学校司書や図書担当の教員が、夏休み中に本屋さん巡りをして、子どもが喜んで読んでもくれそうな本探しをしています。私の印象では、美原小学校の図書室には高学年向けの本が少ないため「特に高学年向けの本を探して」とお願いしています。私もブックオフ巡り（愛校会の支援がなければできません）をして、たくさん本を買いました。

愛校会のご支援



現在、180冊



美原っ子がさらに本が大好きになるように、2学期の取組をしてまいります。本が大好きになれば、文章を読むことが日常になり読解力が高まります。また、想像の世界を歩んだり、過去や未来の人と話をしたり、冒険や友情のすばらしさに触れたり等、豊かな人間性を育むことにつながります。保護者の皆様や図書ボランティアの皆様、地域の皆様にもご協力いただくことがあるかと存じますので、どうぞよろしく申し上げます。

以前にもお願いしましたが、「本の寄付」もぜひよろしく申し上げます！